

7/23(火)、インクルーシブリーダーシップセンター(GIL)センター長アルカンタラ教授は、APU 校友であり、ネイチャーズケア、ハンターズドリームの現 CEO マイケル・ウー氏をゲストに迎え、オンラインセミナーを開催しました。GIL 主催「COVID-19 AND BEYOND : インクルーシブな職場と社会に向けて」の待望の第一回のセミナーとなりました。ウー氏による母校での登壇は初めてではなく、APU グローバルビジネスリーダーズのメンターとして現在も活躍されています。ビジネスにおける新型コロナの影響と流行後の変化について、今後の見通しはこれまでの講演内容とは全く異なるものでした。

今回のウェビナーのテーマに沿って、ウー氏が経営する焼肉レストランの経営モデルをたった7日間で変更させ、従業員やビジネスパートナーとの関係性を保ちながら、危機を成長する機会に代えるといった、新型コロナにどのように対応したのかについて話されました。緊急事態においてリーダーや経営者は現実を受け止め、臨機応変な対応が求められていることを強調し、従業員の長期雇用と既存ビジネスの成長のため創造性と柔軟性が重要であると語りました。

「かつてないほどよりインクルージョンに」という彼の信念をもとに、より柔軟な働き方、グローバル人材雇用の拡大、イノベーションの加速をもたらした新しい形の職場についての視点を共有しました。自身がオーストラリアで移民として感じた経験から、職場におけるインクルージョンの感覚が間違いなく重要であることを説明しました。

就職活動に今まさに開始しようとする人たちへのアドバイスとして、世界的なコロナ流行は多くの産業に確実に影響をもたらすものの、経営者が求める基本的な能力はほぼ変わらず、若い人には各々の能力に適した、そして貢献できる思える分野のビジネスのを目指すようにと話しました。

終わりに、意思決定を迫られている人々やリーダーに次のように呼びかけました。よりインクルージョンな職場環境と社会を創るために、「どのように見えるか何を言っているかではなく、職場での実力、能力に基づいて」言うことは行動を起こすより簡単であるけれども、インクルージョンを中心的な価値とすることは職場のみならず、いかなる組織においても重要であると伝えました。